

講師プロフィール・プログラム

I部：こども・若者へのアウトリーチから「孤独・孤立」を考える



谷口 仁史 氏

認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス 代表理事

佐賀大学文化教育学部卒業。在学中からボランティアで不登校、ニート等の状態にある子ども・若者へのアウトリーチ（訪問支援）に取り組む。卒業後、大学教授ら有志を募り「NPO スチューデント・サポート・フェイス（略称 S.S.F.）」を設立。令和7年3月末日現在、委託事業を含む約86万件の相談活動、約7万6千件のアウトリーチに携わった他、市民活動団体を含む幅広い支援機関とのネットワークの構築や「職親制度」等社会的受け皿の創出、執筆や講演活動など多彩な活動を通じて、社会的孤立・排除を生まない支援体制の確立を目指している。

近年はその実績が認められ公的委員を歴任。アウトリーチに関しては、「若年者向けキャリア・コンサルティング研究会」、「高校中退者等アウトリーチワーキンググループ」で委員を務めた他、生活困窮者自立支援法に係る「社会保障審議会特別部会」、子ども・若者育成支援推進法に係る「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」、こども家庭庁創設に係る「こども政策の推進に係る有識者会議」等政府系委員も務め、全国的な取組の推進に貢献している。

II部：グリーフケアから「孤独・孤立」を考える



坂口 弘幸 氏

関西学院大学人間福祉学部人間科学科 教授、
関西学院大学悲嘆と死別の研究センター センター長

専門は臨床死生学、悲嘆学。死別後の悲嘆とグリーフケアをテーマに、主に心理学的な観点から研究・教育に携わる一方で、ホスピスや葬儀社、保健所、市民団体などと連携してグリーフケアの実践活動を行ってきた。著書に「増補版 悲嘆学入門－死別の悲しみを学ぶ」（昭和堂）、「自分のためのグリーフケア」（創元社）、「喪失学－「ロス後」をどう生きるか?」（光文社新書）、「死別の悲しみに向き合うグリーフケアとは何か」（講談社現代新書）などがある。



赤田 ちづる 氏

関西学院大学悲嘆と死別の研究センター
客員研究員、
NPO法人いのちのミュージアム 研究員

上智大学グリーフケア研究所および関西学院大学大学院人間福祉研究科でグリーフケアを学ぶ。遺族を対象とした研究のかたわら、主に関西を拠点に、グリーフケアの実践や支援者養成に取り組んでいる。著書に「もう会えない人を思う夜に：大切な人と死別したあなたに伝えたいグリーフケア28のこと」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）などがある。

● 13:30 開会

● 13:30-15:00

開会挨拶

I部：こども・若者へのアウトリーチから「孤独・孤立」を考える

講師：谷口 仁史 氏
コメンテーター：
鈴木 晶子 氏

● 15:00-15:05

休憩

● 15:05-16:25

II部：グリーフケアから「孤独・孤立」を考える

講師1：坂口 幸弘 氏
講師2：赤田 ちづる 氏
コメンテーター：
山口 和浩 氏

● 16:25-16:30

閉会

● 16:30-17:00

総会



お申し込みは
こちらから